

大麦管理特報

～第5号～

令和7年5月19日

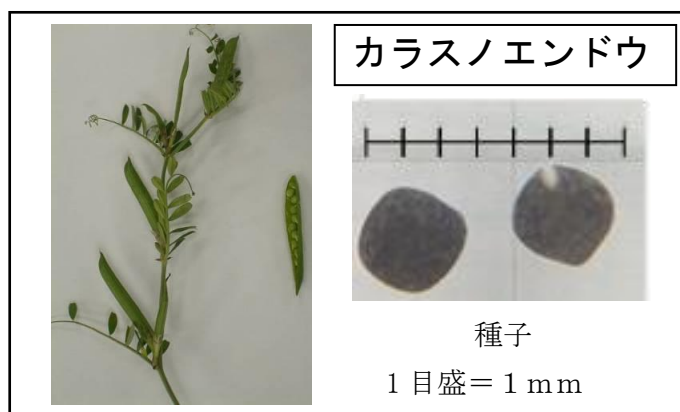
黒東地域農業技術者協議会

大麦の出穂後の気温は概ね平年並みに推移しており、今後は高く推移すると予想されています。

事前に「雑草種子や異物の除去」及び「被害粒の発生確認」を行い、適期刈取に努めましょう。また、コンバインの清掃を徹底し、粃などの混入防止に努めてください。

1. 雑草種子や異物の混入防止

- ・ カラスノエンドウは早めにほ場を巡回し、種子が黒くなり、はじける前に取り除きましょう。
- ・ 金属やプラスチック片などの混入防止のため、ほ場周りを事前に確認しましょう。



2. 被害粒の混入防止

- ・ 赤かび粒、麦角粒などの被害粒の混入限度は、「0.0%」です。
被害粒が収穫物に混入しないよう、収穫の7～10日前頃にはほ場を確認してください。
- ・ 被害粒がある場合は、地区担当の営農指導員に連絡していただき、被害粒が健全粒に混ざらないよう収穫は別扱いしてください。



赤かび粒

3. 大麦の収穫時期の目安

- ・ 大麦の収穫時期は、平場では出穂の早いところで5月30日頃から、山手では、これより5日程度遅いと予想されます。
- ・ 刈取りは、穂軸や茎、葉が完全に黄化し、子実水分が30%以下となった頃から開始してください。

